

これは、市内の中学生・高校生11人が、姉妹都市のオーストラリア・ウオーナ

災害時即利用が可能に

青山会が寝具セットを寄贈

市内で福井記念病院や介護老人保健施設「なのはな苑」などを運営する医療法人財団青山会が9月27日、社会福祉法人三浦市社会福祉協議会に、災害時備蓄用の寝具セットを寄贈した。

これは、東日本大震災の被災地に同財団のスタッフらが医療支援チームとして



寝具セットを手にする青山会日景部長(右)と市社協熊谷副会長(左)

出向いた際に、現地に多くの毛布が支援物資としていち早く届けられた一方で、いくつかの避難所でそれが枕や敷布団、掛け布団とセツトになるのに時間がかかったことを目の当たりにし、「パッケージによる支援」の重要さを痛感したことから、次の災害に備え社会貢

献の一環として対応。災害時に市のボランティア統括センターや避難所として機能することが期待される市社協に対し、寄付した。当日は、青山会の日景永子総務部長が南下浦町菊名の市社協を訪れ、掛け布団・敷布団・毛布・枕・シーツ・包布がまとまった寝具12セットのほか、掛け布団26枚、毛布11枚、枕26枚を市社協の熊谷末男副会長に贈った。

市社協では、「すぐ使えるのでセツトはありがたい」と話している。
※関連記事「人物風土記」

経験を防災にも活かしたい

○3月11日の東日本大震災をうけ、いち早く医療支援チームの一員として現地に入りした医療法人財団青

被災地での自身の活動の拠点となった、岩手県陸前高田市の地域交流センター

末まで行なわれていた募金活動の発起人でもある。阪神大震災のときも1週間医

としての責任その体験を通するマネジメ

も大事」と話

各分



『平成23年

的に向

生以下は500円。問い合

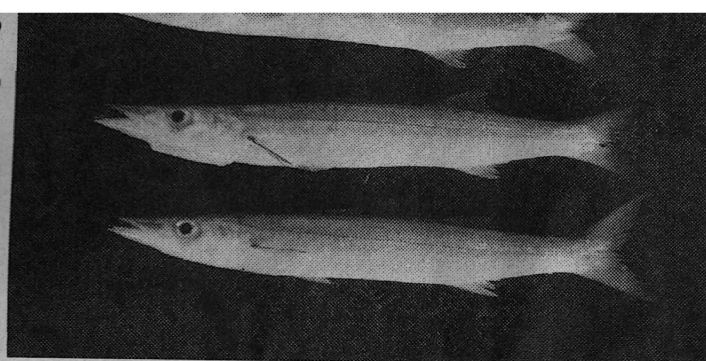
(服部 エレン)

災害備蓄用の布団など寄付

医療法人「青山会」

三浦市初声町高円坊の医療法人「青山会」(内藤圭

旬を迎えたカマス



あります。料理する際には注意しておかなければなりません。

(長井水産取締役

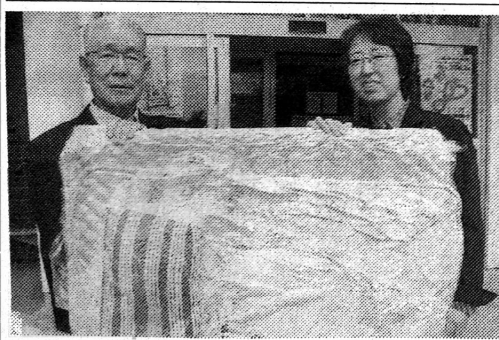
嘉山 定晃)

之理事長)が27日、市社会福祉協議会(同市南下浦町菊名)に災害備蓄用の布団や毛布、枕などの寝具を寄付した。写真。

東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の避難所を共同で支援したのがきっかけ。同社協が三浦市の災害ボランティアセンターに指定されていることから寄付を思い立った。

寄付したのは、掛け布団や敷布団、枕、シーツなど。同会の日景永子総務部長が「被災地で物資不足を目の当たりにした。ぜひ有効活用してほしい」と話し、同社協の熊谷末男副会長に目録を手渡した。

(石川 泰大)



- ▽湘南 長) 50万円 湘南 行代金の
- ◇横
- (23、
- 珈光ヒ
- ス
- (珈)伊
- 郷間
- (珈)
- ボン
- (ボ)
- 池田
- カリ
- (カ)
- 谷川
- アスト
- (ア)新
- 田一金
- 吉田
- 平井
- 画部
- 山)千
- 山)千
- 民協
- 遺職員
- 総務部
- 市部
- 吉田